①保護者様用持ち物確認リスト

いよいよキャンプの始まりです！（準備からがキャンプになります！）
お子様と一緒にキャンプを楽しみましょう♪

★お子様と一緒に準備を行い、お子様自身がどこに何を入れたか分かるようにしてください。
★忘れ物がないよう、早めの準備とチェックをお願いします。
★お荷物は、リュックとバックの２つに分けて入れてください。
★持ち物にはすべてわかるように名前を記入してください。

□	着てくる服	1	動きやすい服装。
□	運動靴	1	普段から履きなれているものを履いてきてください。
□	帽子	1	黒色以外（黒い帽子は蜂が寄って来やすいため）
□	水筒（中身を入れて）	1	１リットル程度の軽いもの。
□	防寒具	1	ジャンバー（必要な方はネックウォーマー、手袋、ニット帽） マフラーは不可とする

◆リュックサックに入れるもの

チェック	持ち物	数量	用途・備考
□	リュックサック	1	移動や活動のときに必要なものを入れる為。１５ℓ程度のもの
□	保険証のコピー	1	名前を書いた封筒に入れ引率スタッフへ提出します。
□	参加同意書	1	直筆で記入の上、捺印。引率スタッフへ提出します。
□	キャンプのしおり	1	名前記入欄に必ず名前を書いてください。
□	船のチケット代	1	当日、引率スタッフへ提出します。（往復分が必要です）
□	１日目の昼食と箸	1	初日の船の中で食べます。箸はキャンプ中使用します。
□	ポケットティッシュ	4	１日１個くらい。必要分をご用意ください。
□	タオルハンカチ	4	手拭き、汗拭き用。
□	マスク・ビニール袋	4	調理時にマスクは1つ着用する。他は個人に任せます。 （ビニール袋はマスク入れ）
□	歯ブラシセット	1	歯ブラシ・歯磨き粉・コップ
□	雨具（カッパ）	1	セパレートタイプで動きやすいものが好ましいです。
□	筆記用具	1	えんぴつ、ボールペン、消しゴムなど
□	常備薬・酔い止め	必要量	必要な人のみ。

※こちらでは医師の処方以外では内服薬を投与することはありません。
常備薬などには必ず説明書と薬リスト（種類や数）をスタッフに提出した上で、
本人の責任で服用するようにしてください。
なお、消毒や虫刺され、傷薬などの外用薬はこちらで常備しております。

◆大きいバックに入れるもの

チェック	持ち物	数量	用途・備考
□	バック	1	ボストンバックやスポーツバック 。スーツケースはNG。
□	上靴	1	学校のものでも可。転倒防止のためかかとがあるもの。
□	エプロンと三角巾	1	食事作りの時に使用。三角巾はバンダナでも構いません。
□	軍手	2	魚釣りや野外活動で使います。
□	洋服（上下）	３日分	動きやすいもの。施設で洗濯可能です。洗剤あります。
□	下着（上下）	３日分	施設で洗濯可能です。
□	靴下	3日分	施設で洗濯可能です。
□	バスタオル	2	施設で洗濯可能です。
□	フェイスタオル	3	施設で洗濯可能です。
□	パジャマ	1	トレーナー・ジャージ等、普段着用のもので可。 ※朝夕は冷え込みますので厚手のものが望ましいです
□	ビニール袋	3	汚れやごみを入れたり、利用することがあります。

持ち物注意事項!!

・活動に不必要なものは持ってこないようにしてください。

（お菓子、携帯電話、漫画、ゲーム機、ミュージックプレイヤーなど）

→もって来られた場合、こちらの判断で期間中はお預かりする場合もあります。

※送迎で連絡が必要なお子様のみ、携帯電話を持たせることは許可いたします。

ただし、活動中はスタッフの方で預からせていただきます。

・フェリー移動および野外活動中の、お菓子の飲食は原則禁止としています。お菓子は持たせないでください。

（船酔い防止のために、ガム・飴類はお持込可能です。食べるのは船内のみになります。）

・お金は活動中に使う機会がありませんので、帰りの交通費およびお土産代（数千円程度）以外は持たせないでください。帰る前に小値賀島のお土産屋さんに寄ります。

・自然体験活動に使えるような双眼鏡・ミニ図鑑などは、ご自由にお持ちください。

・活動中、参加するお子様には体験に集中して頂く為、カメラの持込みはご遠慮いただいております。

なお、活動中の写真は当スタッフにて撮影し、体験終了後に写真データを発送します。